

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和 7 (2025) 年 5 月 21 日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「民間企業では、一般的に、5、6月は株主総会の開催時期に当たり忙しくなるが、これは、3月末で事業年度を締め、総会で決算等を行う形になっているもので、役員が入れ代わらないことも多いことから、前年度の反省や振り返りと今年度の方針決定を同時並行で進めることができる。一方、警察は3月末に人事異動があり、民間企業に比べ前年度分の総括やそれを踏まえた方針、中長期的な業務の引継ぎなどが難しいのではないかと感じているところがある。前年度を踏まえた対策など業務計画の策定について、引き続き意識して進めていただきたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 警察署協議会委員の改選に伴う委員候補者の審議及び委嘱について

警察本部から、「警察署協議会の委員改選に伴い、各警察署から推薦された委員候補者について、公安委員会決裁を経て新たに委嘱する予定である。今回は、大船渡・釜石・宮古警察署を除く13警察署の協議会委員の任期が本年5月31日で満了し、6月1日付けで改選となることから、各警察署から新たな委員候補者の推薦がなされている。まず、改選人員についてであるが、今回改選する委員は116人となる。各警察署の委員の定数は、警察署協議会の議事の手続等に関する規則第2条に定められており、最少は遠野・岩泉署の5人、最多は盛岡東署の15人となっている。推薦された方々の内訳は、再任が前回改選時より13人減の62人、新任が13人増の54人となる。性別は、男性が前回改選時より4人増の61人、女性が4人減の55人である。女性の登用率は、前回改選時の50.9%と比較し3.5ポイント減の47.4%となっている。岩手県では、審議会等委員に占める女性の割合目標値を40%に設定しているところであるが、県警察では、目標値にとらわれることなく住民の声に基づき行動できる警察を目指すため、各署の実情に合わせ幅広い人材の登用に努めている。年齢構成は、20代、50代が減少し、30代、40代及び70代が増加しており、平均年齢は前回改選時と比較して1.7歳上昇している。最年少は遠野署の33歳男性、最年長は盛岡西署の77歳男性である。推薦者の職業分野は、会社役員や自営業者を含む『事業者』と『医療・福祉』の方の合計が半数弱を占めている。なお、大船渡・釜石・宮古警察署の委員につい

ては、本年9月30日までの任期であるため、10月1日の委嘱を予定し事務を進めることとしている。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「幅広い世代や職業の方々から委員を委嘱することが大切である。若い世代は難しいところもあると思うが、今回はとても良い形になったと思うので、今後も考えや意見が偏らないようにしてもらいたい。」

○ 令和6年度中における特定秘密保護法に基づく適性評価の実施について

警察本部から、岩手県警察における特定秘密の保護に関する訓令第47条に基づく適性評価の実施状況について報告があった。

【交通部議題】

○ 第55回県下白バイ安全運転競技大会の開催について

警察本部から、「白バイ乗務員の受傷事故防止に資するための運転技術向上と、士気高揚及び融和団結を図ることを目的として、第55回県下白バイ安全運転競技大会を開催する。大会は、令和7年6月6日に盛岡市下田地内のトライアル場、翌7日に自動車運転免許試験場で開催することとしている。本部長が大会会長を務め、7日には公安委員長にも出席いただく予定である。競技種目は、6日にトライアル走行操縦競技、7日にバランス走行操縦競技と傾斜走行操縦（スラローム）競技を行う。出場する選手区分は、第1部が白バイ特別訓練員及びその経験者、第2部が白バイ乗務歴が通算して1年以上の者、新任隊員の部が白バイ乗務歴が通算して1年未満の者とし、成績優秀者を表彰する。なお、大会は一般公開していることから、報道機関への情報提供を行うなど、広く広報していくこととしている。」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 特定秘密の指定及びその解除並びに保護措置の実施について

警察本部から、警察における特定秘密に係る業務の適正の確保に関する規則第3条に基づき、特定秘密の指定及び解除並びに保護措置の実施状況について報告があった。

【その他】

- 運転免許センター等におけるシステム障害の発生について報告があった。

■個別会議

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁

○ 交通機動隊

第55回県下白バイ安全運転競技大会における公安委員会委員長の対応についての説明、決裁